

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	玉手山学園高校新校舎	階数	地上8F
建設地	柏原市旭ヶ丘3丁目4803-1外73筆	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	0人
気候区分	5地域	年間使用時間	0時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年1月13日
敷地面積	38,735 m ²	作成者	(株)服部建築事務所 服部貢
建築面積	991 m ²	確認日	2016年1月13日
延床面積	6,296 m ²	確認者	(株)服部建築事務所 服部貢



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 用途が学校であり普通教室に滞在する時間が長い為、室内環境の向上に配慮し、視環境の向上や、空間のゆとり、快適性の向上に努めた。 また、便所の使用量も多いものと想定される為、節水型便器を積極的に採用する計画とした。		0
Q1 室内環境 屋光率、照度を高め、グレア対策としてカーテンや庇にて屋光を制御することで、視環境の向上をはかった。また全面禁煙対策を行うことで、室内環境の向上に努めた。	Q2 サービス性能 階高、天井高さを確保し空間のゆとり確保や快適性の向上に努めた。また、耐久性の高い床材、トイレについては防汚性の高い内装材を採用し、維持管理に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地中央に配置することで隣接住宅地の圧迫感を軽減し、既設緑地の保存を行うことで、室外環境の向上に努めた。
LR1 エネルギー 外壁面に断熱材を設ける等、建物の熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用により水資源保護や、LGS壁、可動間仕切壁の採用により再利用可能性向上に努めた。	LR3 敷地外環境 適切な屋外照明とし、計画建物を敷地中央へ配置することで、敷地外環境への光害に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0098

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	玉手山学園高校新校舎					
		建設地	柏原市旭ヶ丘3丁目4803-1外73筆					
		用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								